

川崎市産業振興財団 医工連携研究会への参加報告

高 橋 修*・尾 形 哲 郎**・櫻 井 亨**

*富山大学 产学連携部門 / University of Toyama
**川崎市産業振興財団 / KAWASAKI INSTITUTE OF INDUSTRY PROMOTION

JL 0002/15/5402-0129 ©2015 SICE

この度、縁あって計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門（LE 部門）が川崎市産業振興財団（財団）の医工連携研究会でシーズ・ニーズを発表し、他大学の先生方、参加企業および財団の方々と意見交換する貴重な機会を得ることができた。LE 部門は、医療機器・医薬品の開発設計向け展示会である MEDTEC Japan に昨年から積極的に出展しており、その度に多くの方々がブースに訪れている。この展示会に参加し、LE 部門のシーズ・ニーズに興味をもった財団は、川崎市内中小企業とのマッチングを模

表 1 川崎市産業振興財団 平成 26 年度第 1 回医工連携研究会

主 催：川崎市産業振興財団
共 催：計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門
日 時：平成 26 年 9 月 5 日（金）15:00～17:30
場 所：川崎市産業振興会館 9 階第 3 研修室

表 2 LE 部門のシーズ・ニーズ発表者（敬称略）

所 属	氏 名
岐阜大学	野方 文雄
富山大学大学院	中島 一樹
東京医療保健大学	山下 和彦
北里大学	根武谷 吾
工学院大学	福岡 豊

索するため、平成 26 年度第 1 回医工連携研究会（表 1）を開催した。財団と LE 部門からの挨拶に続き、表 2 の 5 名によるシーズ・ニーズの発表、参加した全企業の業務内容などの紹介が行われた。その後の懇親会でも活発な意見交換が行われた（写真 1）。参加者は川崎市内の中小企業を中心に 23 社 27 名、自治体関係者 13 名、部門関係者 9 名であった。財団では参加した企業からのアンケート結果を基に、今後、各企業と相談の上、マッチングを進める予定である。



写真 1 懇親会での意見交換のようす

（2014 年 9 月 9 日受付）